

研究室名
<b>18-3-11 化学教育研究室（松岡研究室）</b>
最近の研究課題とその取り組みの概要
<p>化学教育の分野では、演示実験や生徒実験に使用されている試薬類の濃度・使用量は先人たちが検討・開発してきた結果を参照にしつつも、試薬濃度の希薄化、あるいは使用量の少量化などがたえず行われており、教材開発の重要な柱の一つとなっている。</p> <p>本研究室では、「固定した触媒・試薬を使う新規な化学実験教材の開発」に関する研究を行っている。従来は反応系に分散させていた触媒や試薬を固定化することで、化学反応が穏やかに進行し安全性が向上することが期待される。また、用いる試薬の量が少なくなり資源の節約をはかるとともに、後処理にかかる手間や時間を節約できる。このような、中学校や高等学校の化学実験教材の開発のほか、中等学校理科教員との連携による授業や実験を実施している。</p> <p>また、理科（化学）系課外活動の支援、理数系に優れた素質を持つ生徒の支援など、理数好きの子供たちの裾野を広げる活動にも積極的に参加している。</p> <p>このほか、文部科学省検定教科書（高等学校化学基礎，高等学校化学）および、資料集や問題集の執筆や、看護・生活系学部等対象の化学教科書の執筆にも携わっている。</p> <p>キーワード：理科教育・化学教育・実験教材開発・理科系課外活動振興</p>
研究室の構成員
松岡 雅忠（准教授）・博士（学術）
2020年度の大学院生および卒論生の人数と研究テーマ
<p>4年次生：4名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・油脂の空気酸化を迅速に観察させるための化学実験教材の開発</li> <li>・遷移金属塩の水溶液の加水分解を利用した化学実験教材の開発</li> <li>・結晶の析出を利用した作品作りと、それを活用した対面実験授業とオンライン実験授業の比較</li> </ul>
教員の担当科目
松岡 雅忠：(学部) 一般化学，無機分析化学B、基礎化学実験（地球圏科学科、薬学部）、化学A・B（物理科学科）、教育実習事前事後指導、卒業論文
教員の所属学会
松岡 雅忠：日本化学会、アメリカ化学会、日本理科教育学会、日本科学教育学会、化学史学会、日本基礎化学教育学会、物理教育研究会
最近5年間の学術論文
<p>松岡 雅忠：</p> <p>【学術論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山内雪丸，松岡雅忠*，尿素結晶の析出を利用した「壁飾り」の教材開発とその活用－中学校の対面授業とオンライン授業，科学実験イベントでの実践－，理科教育学研究，査読有，62(2)，in press，2021.</li> <li>・Masatada Matsuoka*，Takashiro Akitsu，Hydrolysis of 2-Chloro-2-methylpropane–Demonstration Using the Quenching of Fluorescence from Fluorescein，<i>Journal of Chemical Education</i>，査読有，98，941-945，</li> </ul>

2021.

・川端涼太, 松岡雅忠\*, 秋津貴城, サレン型シッフ塩基亜鉛(II)錯体配位子を用いた銅(II)イオンの定量一配位子の合成と生徒実験での活用一, 化学と教育, 査読有, 68, 388-391, 2020.

・松岡雅忠\*, 太田友華, 井上正之, 酸化ホウ素系固体酸を用いたトリアリールメタン型色素の合成一色素の合成と生徒実験での活用一化学と教育, 査読有, 65(11), 588-591, 2017.

・松岡雅忠\*, 井上正之, 酸化マンガン(IV)を固定化した陶土の調製とそれを利用した実践研究一過酸化水素水中の上下運動の観察一, 科学教育研究, 査読有, 41(2), 205, 2017.

・Masatada Matsuoka\*, Using Silica Gel Cat Litter To Readily Demonstrate the Formation of Colorful Chemical Gardens, 査読有, *Journal of Chemical Education*, 94(5), 621-625, 2017.

・松岡雅忠\*, 中学・高等学校の理科系部活動における探究活動のテーマ分析一東京都内の研究発表会の事例から一, 理科教育学研究, 査読有, 57(4), 281, 2017.

【総説】

・松岡雅忠\*, 「溶ける」と「融ける」, 化学と教育, 査読有, 69, 110-113, 2021

・松岡雅忠\*, 私達の生活と糖類, 化学と教育, 査読有, 68, 220-223, 2020

最近5年間の学術著書

該当なし

最近5年間の学術国際会議での発表

Masatada Matsuoka, Masayuki Inoue, Synthesis of triarylmethane dye molecules utilizing boric silica gel, The fifth International Conference of East-Asian Association for Science Education, 2016年8月

最近5年間の代表者としての学外資金導入実績

中高生の科学研究活動推進プログラム, 科学技術振興機構, 2017年-2019年

中学校・高等学校科学振興助成, 武田科学振興財団, 2019年

科学教育振興助成, 中谷電子計測技術振興財団, 2017年

最近5年間の代表者としての学内資金導入実績

該当なし

最近5年間の学会等学術団体における役職など

日本化学会「化学と教育」誌 編集委員会 副委員長 (2020-)

日本化学会「化学と教育」誌 実験の広場小委員会 委員 (2008-)

日本化学会 化学グランプリ・オリンピック委員会 委員 (2004-)

国立教育政策研究所 学習指導要領実施状況調査(高校化学) 委員 (2014-2017)

最近5年間の一般向け論文と著書、行政報告書など

松岡 雅忠:

【著書】

・松岡雅忠(著), 田中永一郎(監修), 「まるわかり!基礎化学(新訂版)」, 南山堂, 1~148ページ, 2021.

・久保正, 尾野光夫, 山王憲雄, 中原真一郎, 柏原林造, 音堂健治, 平松敦史, 松岡雅忠, 瀬名光一, 野澤優太, 広瀬純, 西山和之, 佐野博敏, 花房昭静, 山内薫, 井上正之, 「スクエア最新図説化学(九訂版)」, 第一学習社, 64~101ページ, 2020.

【行政報告書】

松岡雅忠，他：平成27年度学習指導要領実施状況調査（高等学校化学基礎）報告書，国立教育政策研究所教育課程研究センター，2017年

【現職教員向け実験解説】

松岡雅忠，エバンスの実験（鉄の酸化），化学と教育，69/6,240-241, 2021年

松岡雅忠，水ガラスを使用する実験，化学と教育，69/2,58-59, 2021年

松岡雅忠，コロナ禍のもとでの化学実験，化学と教育，68/10,399-399, 2020年

松岡雅忠，炭酸ナトリウムの二段滴定，化学と教育，68/10,412-413, 2020年

松岡雅忠，クエン酸を用いた定量実験，化学と教育，67/12,600-601, 2019年

松岡雅忠，電解金属葉の実験，化学と教育，67/5,218-219, 2019年

松岡雅忠，マグネシウム空気電池，高校生・化学宣言（高校生の研究発表会の総括），12/,116-123, 2019年

松岡雅忠，生徒も教員も成長できる理科実験室を目指して，理科の教育，68/1,21-24, 2019年

松岡雅忠，金属塩を吸着させた粉体の活用，高校生・化学宣言（高校生の研究発表会の総括），11/,106-113, 2018年

松岡雅忠，古代の蛍光塗料の再現，高校生・化学宣言（高校生の研究発表会の総括），10/,72-81, 2017年

松岡雅忠，炭酸塩を使った定量実験，化学と教育，65/1,20-21, 2017年

松岡雅忠，ナフタレンの昇華，化学と教育，64/7,336-337, 2016年

松岡雅忠，猫砂からのヒラメキ，高校生・化学宣言（高校生の研究発表会の総括），9/,156-163, 2016年

松岡雅忠，草木灰からアルカリを抽出する，化学と教育，64/3,118-119, 2016年

最近5年間の一般（非学術）集会での発表論文

該当なし

最近5年間の学術団体以外の団体での啓蒙活動や社会貢献活動とその役職など

松岡 雅忠：

東京都私立中学高等学校協会「理科（化学）実験研修会」講師（2021）

東京都私立中学高等学校協会「生徒理科研究発表会」運営委員会 顧問（2015-2020）

東京理科大学 教育支援機構 理数教育研究センター討論会 パネリスト（2019）

科学技術振興機構「次世代人材育成事業発表会」講師（2018）

科学の甲子園ジュニア全国大会 実行委員（2013-18）

青少年のための科学の祭典全国大会 実験講師（2016）